

# ご参考

## 平成18年3月期 決算短信

平成18年5月11日

・会社名 クラレトレーディング株式会社  
 ・本社所在地 大阪市北区梅田1丁目12番39号  
 ・代表者 代表取締役社長 木村 哲三  
 ・問合せ先 総務部長 山口 信義 TEL(06)6348-9305

### 1. 18年3月期の業績(平成17年4月1日～平成18年3月31日)

(1) 経営成績 (注)金額表示は百万円未満切捨による。

	売上高		営業利益		経常利益	
	対前期増減率		対前期増減率		対前期増減率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年3月期	121,686	5.5	2,698	20.0	2,579	16.7
17年3月期	115,368	8.1	2,248	31.3	2,211	33.6

	当期純利益		1株当たり 当期純利益		株主資本 当期純利益率	総資本 経常利益率	売上高 経常利益率
	対前期増減率						
	百万円	%	円	銭	%	%	%
18年3月期	1,407	29.8	4,215	37	15.5	6.0	2.1
17年3月期	1,084	35.4	3,246	88	13.6	5.2	1.9

(注) 1. 期中平均株式数 18年3月期:334,000株 (期末株式数334,000株)  
 17年3月期:334,000株 (期末株式数334,000株)

(2) 財政状態

	総資産	株主資本	株主資本 比率	1株当たり株主資本	
	百万円	百万円	%	円	銭
18年3月期	43,636	9,746	22.3	29,182	45
17年3月期	42,880	8,458	19.7	25,323	66

### 2. 19年3月期の業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
中間期	58,000	1,220	1,200	600
通期	118,000	2,600	2,550	1,250

### 3. 業績の概況

#### < 全般的状況 >

当期における国内景気は、企業収益が改善し民間設備投資が堅調に推移するとともに、雇用情勢の改善が見られ、個人消費もゆるやかに増加するなど、着実に回復基調をたどりました。このような状況の下、当社におきましては、繊維関連が若干減収ながらも増益、化学品・化成品関連が増収増益と健闘した結果、前期に比べ増収・大幅増益の業績となりました。

- ・売上高は1,216億8千6百万円。前期比+63億1千7百万円、+5.5%の増収。売上高構成比では、繊維比率47.2%、化学品・化成品比率52.8%となりました。
- ・営業利益は26億9千8百万円（前期比+4億4千9百万円、+20.0%の増加）、経常利益は25億7千9百万円（前期比+3億6千8百万円、+16.7%の増加）となりました。
- ・特別損失として在庫評価損1億1千8百万円を計上しましたが、当期純利益は14億7百万円（前期比+3億2千3百万円、+29.8%の増加）となりました。
- ・財務体質は、株主資本比率22.3%（前期比+2.6%）負債純資産倍率（DER）0.3倍（前期DERは、0.4倍）、長期・短期借入金28億円（前期比11億円、28.6%の減少）とさらに健全性が向上しました。

以下「 」の中の名称は（株）クラレの商標です。

#### < 繊維関連 >（減収・増益）

売上高は574億円。前期比11億円（1.9%）の減収となりました。

##### （衣料）

- ・ユニフォーム分野では、製品販売は食品加工業向け衛生白衣や直需用途等が拡大しましたが、産地向けワーキングは前年度の好調の反動で減収となり、売上は前期比ほぼ横ばいにとどまりました。
- ・スポーツ分野は、スポーツアパレルへの製品販売が拡大しましたものの、学販用途及びスポーツアパレル向けテキスタイル販売が伸び悩み、減収を余儀なくされました。
- ・婦人・紳士分野は、フォーマルウェアが堅調に推移し、また、カジュアル向けに高級綿素材の新展開も図りましたが、その他の婦人・紳士カジュアル用途はポリエステル離れなどにより、大幅減収となりました。
- ・これらのうち、縫製品販売は72億円となり、二次製品比率は31%（前期は28%）に拡大しました。

以上の結果、衣料事業は減収・増益となりました。

##### （その他繊維関連）

- ・カーテン、寝装と輸入製品関連が低迷しましたが、クラフレックス・ファスニング・クラベラを中心としたメディカル関連資材、自動車関連資材、靴資材、業務用ダストコントロール資材等が順調に拡大しました。
- ・「クラリーノ」は学童物が堅調に推移し、また「パーカッショ」をはじめとして靴資材が伸長し、婦人衣料や、手袋用途の低迷をカバーして、微増収となりました。
- ・アスベスト代替のFRC（繊維補強セメント）用途や自動車関連ゴム資材用途向けビニロンや水溶性用途の「クラロンK-」、及びポリアリレート繊維「ベクトラン」等の産業資材と工業膜等の環境関連資材が堅調に推移しました。土木用途は、公共投資の減少により苦戦しました。

以上の結果、その他繊維事業は、微減収・微増益となりました。

### < 化学品・化成品関連 > (増収・大幅増益)

売上高は642億円。前期比+74億円(+13.1%)の増収となりました。

#### (化学品・化成品)

- ・耐熱性ポリアミド樹脂「ジェネスタ」は電子材料用途が日本及び中国・台湾向けに大きく伸ばしました。
- ・メタアクリル樹脂は、汎用シートの販売は横ばいでしたが、導光体等の光学用途でアジア向けの輸出が拡大しました。中国でのキャスト板生産設備(可樂麗亚克力有限公司(張家港)、3,000トン/年)が完成し、平成17年下期より稼働を開始しました。
- ・イソプレン関連では熱可塑性エラストマー「セプトン」は加硫ゴム・軟質塩化ビニル樹脂代替等の需要の伸びにより輸出が拡大しました。
- ・ポパール樹脂は繊維分野が伸び悩みましたが、中国向け輸出は拡大しました。ポパールフィルムは、光学用フィルム用途が国内・輸出ともに大幅増収となりました。
- ・「エパール」フィルムでは、壁紙用途は堅調に推移しましたものの、食品包装用途はやや伸び悩み、売上は前期比若干の増収にとどまりました。
- ・搬送用ベルトは自動車用途と輸出の拡大に加え、新規用途のアミューズメント分野向けも順調に推移しました。

#### (その他)

- ・放射線遮蔽装置は、病院向け衝立類の拡販に加え、新規商品、中国向け輸出が伸ばしました。

## 4. 平成18年度経営方針

平成18年度は、国内景気の長期拡大への期待感が膨らむ一方で、原燃料価格の高止まりや米中両国の景気の減速懸念など先行き不透明感が拭えない中、グローバルな企業間競争は益々熾烈化し、優勝劣敗がより鮮明になっていくものと予想されます。このような事業環境に於いても、当社は次の飛躍に向け確かな成長を目指すため、本年度からスタートする新中期3ヶ年経営計画「GS 21」で掲げた以下の課題に全社を挙げて取り組んでいきます。

1. クラトレ独自ビジネスの創出と拡大
2. 「選択と集中」により収益性ある事業への経営資源の集中と、事業の効率化
3. クラレとの連携による商権の維持・拡大と、顧客とのコラボレーション推進「取引から取組へ」
4. 東アジアの拠点拡充と貿易売上の拡大
5. リスク管理の徹底と財務体質の更なる向上
6. メーカー商社として求められる機能や対応力を支えるプロ化した人材の育成

# 損益計算書

(単位:百万円)

科 目	当期(第45期) (17.4.1 ~ 18.3.31)	前期(第44期) (16.4.1 ~ 17.3.31)	増 減
営業収益			
売上高	121,686	115,368	6,317
営業費用			
売上原価	113,515	107,520	5,995
(売上総利益)	(8,170)	(7,848)	(322)
販売費及び一般管理費	5,472	5,600	127
営業利益	2,698	2,248	449
営業外収益	74	71	3
営業外費用	192	107	84
経常利益	2,579	2,211	368
特別損失	118	298	180
税引前当期純利益	2,461	1,912	548
法人税、住民税及び事業税	990	1,060	70
法人税等調整額	63	232	295
法人税等計〔実効税率〕	1,053	828	224
当期純利益	1,407	1,084	323
前期繰越利益	2,846	1,890	955
当期未処分利益	4,254	2,975	1,279

# 貸借対照表

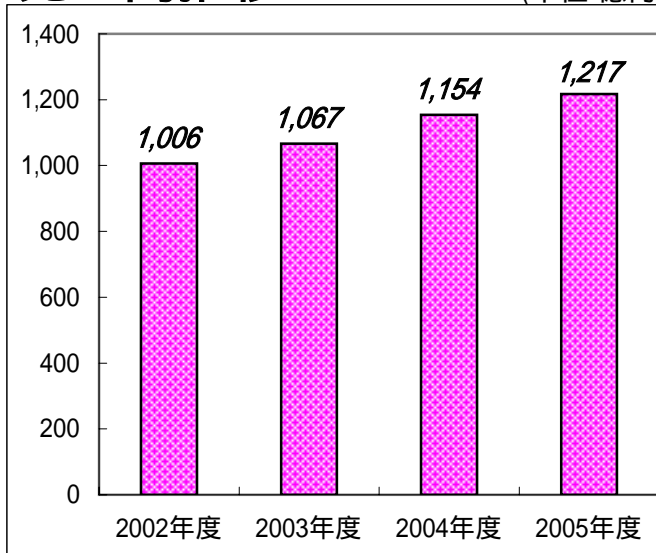
(単位:百万円)

資 産 の 部			
科 目	当 期 (18.3.31現在)	前 期 (17.3.31現在)	増 減
(資 産)			
流 動 資 産	42,226	41,565	661
固 定 資 産	1,409	1,315	94
有形固定資産	602	581	21
無形固定資産	23	25	2
投 資 等	783	708	75
資 産 合 計	43,636	42,880	756

負 債 及 び 資 本 の 部			
科 目	当 期 (18.3.31現在)	前 期 (17.3.31現在)	増 減
(負 債)			
流 動 負 債	31,868	31,366	501
固 定 負 債	2,021	3,055	1,034
負 債 合 計	33,889	34,422	532
(資 本)			
資 本 金	2,200	2,200	-
資 本 剰 余 金	3,059	3,059	-
資 本 準 備 金	461	461	-
その他資本剰余金	2,598	2,598	-
利 益 剰 余 金	4,465	3,174	1,291
株式等評価差額金	21	23	2
資 本 合 計	9,746	8,458	1,288
負債及び資本合計	43,636	42,880	756

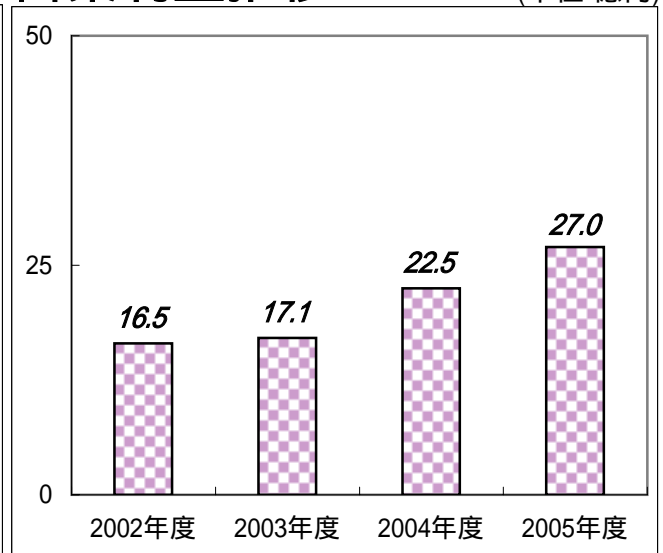
### 売上高推移

(単位:億円)

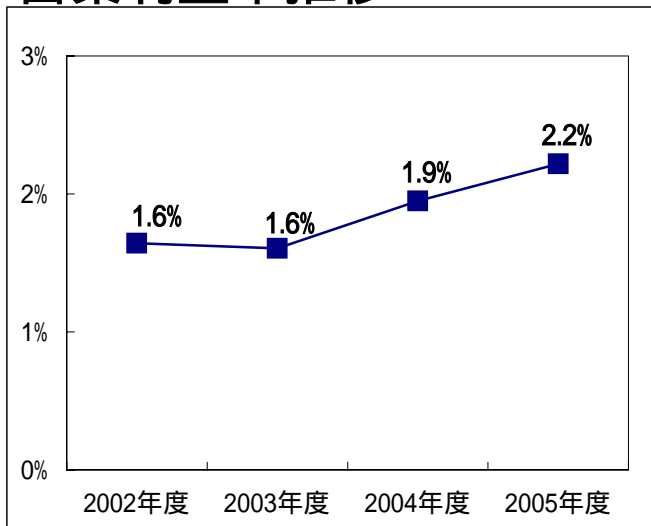


### 営業利益推移

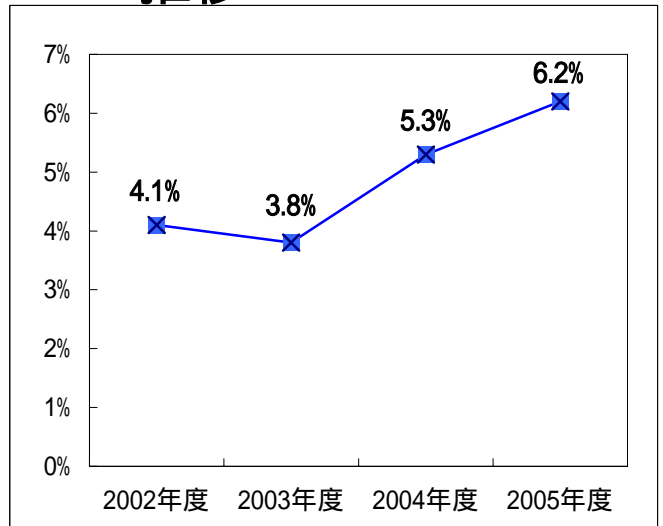
(単位:億円)



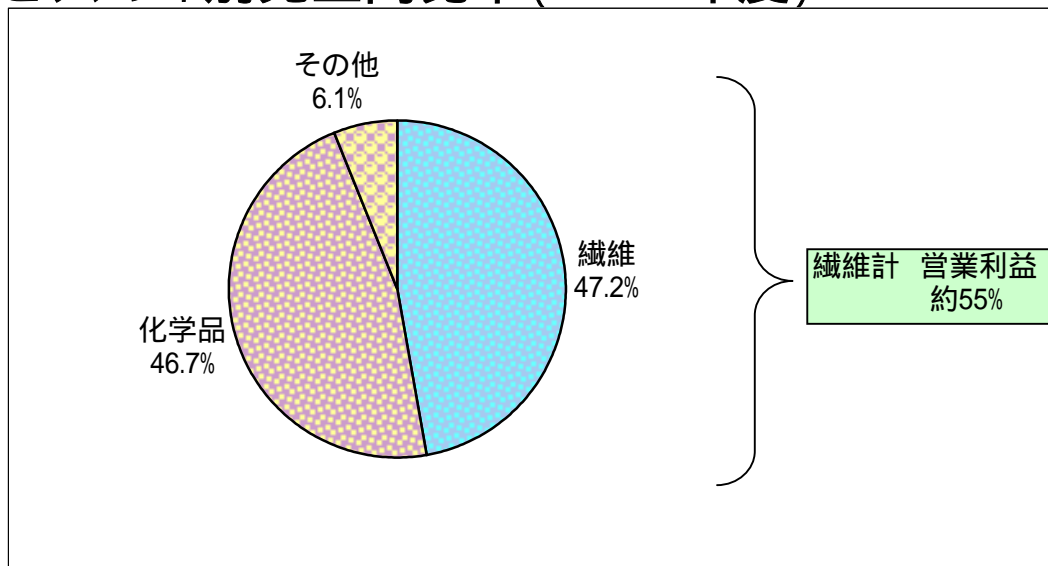
### 営業利益率推移



### ROA推移



### セグメント別売上高比率(2005年度)



## 会 社 概 要

会 社 名	クラレトレーディング株式会社		
住 所	大阪市北区梅田一丁目12番39号	TEL. 06-6348-9010	
	東京都千代田区大手町一丁目1番3号	TEL. 03-6701-2000	
代 表 者	木村 哲三		
資 本 金	22億円		
株 主	株式会社 クラレ(100%出資)		
社 員 数	322名 (2006年3月31日現在)		
年 商	1,216.9億円(2006年3月期)		
事 業 内 容	衣料関連製品、繊維資材、化学関連製品等のメーカー商社		
事 業 所	本社 大阪事業所	(大阪市北区梅田)	
	本社 東京事業所	(東京都千代田区大手町)	
	岡 山 工 場	(岡山県倉敷市真備町)	
	尼 崎 工 場	(兵庫県尼崎市戸ノ内町)	
	名古屋事務所	(名古屋市東区東桜)	
	福岡事務所	(福岡市中央区天神)	
	海外支店	ソウル支店(韓国)	台北支店(台湾)
		香港支店(中国)	
	海外事務所	ハノイ事務所(ベトナム)	
関 連 会 社	株式会社クラレポリマー(日本)		
	可樂麗貿易(上海)有限公司(中国)		
	南通可樂托蓄服装有限公司(中国)		
	可樂麗魔術粘扣帶(上海)有限公司(中国)		
	上海華展倉庫貿易有限公司(中国)		
	可樂麗亚克力(張家港)有限公司(中国)		

以上